

淺田光輝

あさだ ひろあき

評論家。

大正七年五月十五自福島縣生れ（一九一八）。

昭和十八年慶應義塾大學經濟學部卒。應召し、二十一年復員。豊田四

郎の下に日本經濟機構研究所設立の參劃。天皇制、日本フアシズム論

を展開して丸山眞男の「國家論」と對立した。二十九年日本共產黨除

名後は神山茂夫理論から離れて全共闘運動を支援。専修大學・静岡大

學各助教授を経て、四十一年より正大學教授。

著書 『日本資本主義論争前進のため』一勞農派批判』（合著・日本經

濟機構研究所編、昭和二十二年十一月十日白林社）、『大塚史學批判』

（合著・大學新聞連盟編、昭和二十二年十一月二十日大學新聞連盟出

版部）、『正しく世界観』（合著・民主評論社編集部編、昭和二十四

年五月二十日民主評論社）、『近代日本斷面史』（小田切秀雄共編、

昭和二十五年十一月一日青木書店「青木新書」）、『共產主義—人間革

命—政治革命の』（昭和二十二年一月二十日大日本雄弁會講談社

「ミリオン・ブック大」）等。